

Kait e-letter

Vol. 3
No. 3
2018.1.31

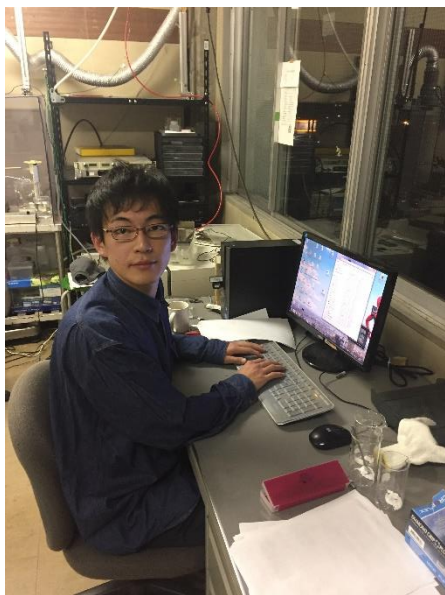
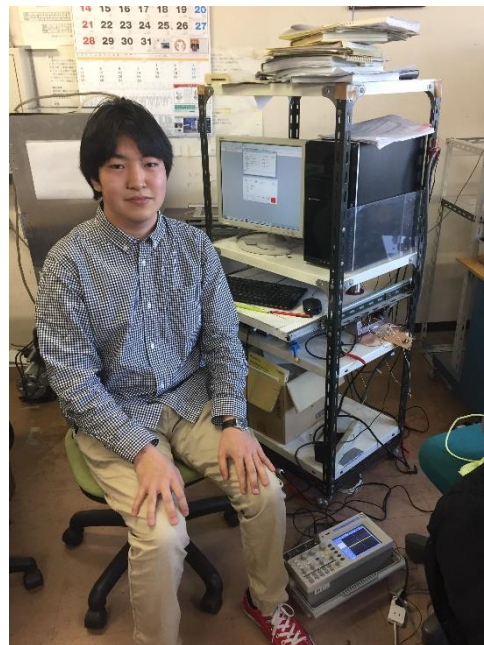
Electrical and Electronic Engineering, Kanagawa Institute of Technology

インターンシップに参加して

鈴村 真（3年，東京，日本大学第三高校） JFEスチール株式会社のインターンシップに2週間参加しました。インターンシップでは、製鉄所で行われる業務と自分が学んでいる事・知識の関わり、信頼性と安全性の大切さを学びました。

業務の体験と学習の他にも、製鉄所内や製鉄プロセスの見学、企業の方とのコミュニケーションも数多くとることができました。そのため、とても充実した体験ができ、知らないことはもちろん、少しは知っている事でも、より深く知ることができ目的を果たすことができました。貴重な体験をさせていただき、企業の皆さまにはとても感謝しております。

インターンシップへの参加を考えている学生には、是非参加することを勧めます。インターンシップでは、様々なことを感じ、学ぶことができます。また、内容はすべて業務の体験が関連したもので、実践的であるため、学んでいることがどのように活かせるかを知るだけでなく、分野の向き、不向きも知ることができるでしょう。このような体験ができる機会はそう多くありません。ぜひ参加し、これからの自分に活かせるようにしましょう。



金子 慎（3年，新潟，長岡工業高校） 富士電機株式会社にて、9日間のインターンシップに参加させていただきました。インターンシップでは、コミュニケーションの重要性、「自ら気づき、考える」ことの大切さを学びました。

短い期間でしたが、行うことすべてが大学やアルバイトでは出来ないととても貴重な経験となりました。一日目の自己分析から踏まえて行った六日目の自分のありたい姿を考えると、自分が成りたいものが分からず悩むことがありましたが、社員の方々からアドバイスを頂き、自分が目指すやりたいことを設定することができました。残りの大学生活は、インターンシップで学んだ知識と経験を就職活動や日々の生活に活かしていきたいです。

後輩にもインターンシップへの参加を勧めます。インターンシップでは、企業のWebサイトや説明会では分からないことを、実際に体験してその企業でしかできないことや雰囲気などを学ぶ事が出来る機会だと思います。会社によって雰囲気が違うことがあると聞きますが、実際に会

社内の各課でも違いがあることを体験することができました。こういった貴重な経験ができるのは在学中だけなので積極的にやることをお勧めします。インターンシップに参加した際は、積極的に社員の方に質問や会話をしてください。私は作業中、悩んだことを積極的に聞きに行く事が出来ず、聞けばすぐに解決することが多々ありました。自分で考えることも大切ですが、分からないことがあればすぐに聞くこともお勧めします。



神奈川工科大学
KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

ホームページ：<http://www.kait-ele.jp>

発行：神奈川工科大学 工学部 電気電子情報工学科
カイト・イーレーター編集委員会



神奈川工科大学
電気電子情報工学科



@kait_ele2014

先輩のキャリアストーリー

石黒 一希（4年，新潟，長岡向陵高校） 株式会社タムラ製作所 内定

【漠然としていた将来が 大学で学んでいく中ではっきりと見えてきた】

将来を見据えて電気系に進学：小学生の頃は絵を描くより、ものを作ることができる図工が好きでした。また、豆電球を点灯させたりする理科の電気分野の学習に興味をもっていました。高校で理系コースを選択し化学なども学びましたが、電気のほうが熱中して取り組めると感じたので、将来を見据えて、「電気系を学ぼう」と決意。神奈川工科大学の電気電子情報工学科へ進学しました。

【反射光を遮断するアイソレーターを製作中】

通信系デバイスを作っている研究室に所属し、「導波路型アイソレーターの薄膜結晶化の検討」というテーマで研究中です。光通信の光の通り道を作る際、反射して戻る光を遮るアイソレーターを製作しています。研究のことから学園祭のイベントまで大学院生に気軽に相談できる研究室です。

【どんな困難にも負けずにチャレンジしたい】

電子部品メーカーのタムラ製作所に研究室の先輩が勤務していて、会社のことを聞いたところ、社員の意思を尊重してくれる環境や社風などに惹かれて、挑戦しました。入社後は情報機器関連のブロードコム事業部へ配属の予定です。困難に直面してもそこから学び、何度でもチャレンジし続けたいです。



Ishiguro Kazuki

大学院生が学会でポスター賞を受賞



楊 帥さん（大学院1年，中国揚州大学からの留学生，写真左）

平成29年11月23,24日に東海大学湘南キャンパスにおいて開催されたシンポジウム'17 SAS Symposium(29th)の環境・エネルギー部門で大学院電気電子工学専攻1年生の楊 帥さん(中国揚州大学からの留学生)が太陽光発電システムの新しいMPPT制御法に関する論文発表を行い、ポスター賞を受賞しました。

また、電気電子情報工学科3年生の長田裕規さん、上村晃毅さんは模擬燃料電池の開発に関する研究、4年生の中里さんは燃料電池の発電効率向上に関する研究、遠山飛鳥さんは次世代ギターの開発に関する研究についてショートプレゼン、ポスター発表を行うなど活躍しました。



国際会議IWIN 2017で

4年生が研究成果を発表

伊藤 弘樹（4年，静岡，沼津工業高校，写真右）

私は、2017年9月3日から9月6日までクロアチアのザグレブにて行われたIWIN2017という国際会議にて研究発表をしました。発表の内容は三年生特別研究で行った内容に加えて4年生前期で行った研究の成果です。会議での発表件数は全体で約30件ほどで全て英語を使った口頭による発表でした。この国際会議で取り扱われた内容としては情報通信に関する研究内容が主でした。初めての海外ということもありとても貴重な体験になり、充実した時間を過ごすことができました。

学生による最近の学会発表等

（期間：2016.10.1～2016.12.31）

1. R. Yuyama, H. Kuroiwa, K. Kimura, et al., CIE 2017, South Korea
2. Kohei Ito, et al., IEEE IAS 2017, USA
3. 稲森翔，木村豪，他，集積光デバイスと応用技術研究会，石川，2017年

4. 落合俊弘，他，集積光デバイスと応用技術研究会，石川，2017年
5. 内堀慎太，他，光エレクトロニクス研究会，OPE2017-101，宮古島，12月7日，2017年
6. 飯島夏来，石黒一希，他，光エレクトロニクス研究会，OPE2017-109，宮古島，2017年